

梅雨時の防災・減災と脱炭素

地域力創造
アドバイザーコラム

梅雨時は、大雨や線状降水帯による集中豪雨、洪水などの被害に備えなければならない時期です。地球温暖化の進行によって、極端な大雨が発生する頻度や降水量は増加しています。このままでは、世界の平均気温が3℃以上上昇する可能性があると考えられ、日本でも気温が2℃以上上昇しただけで、1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨（滝のように降る）の発生確率が20世紀末と比べて1.8倍になると予測されています。私たちは、なんとしてもCO2排出を削減し、温暖化の進行を食い止める必要があります。

同時に、こうした異常気象が日常化していくことを見据えて、今から備えることが大切です。地域ごとのハザードマップを再確認することはもちろん、いざという時の避難所の環境を整備していくことも大事です。現在の避難所となっている建物は、断熱性が不十分でクーラーが効きにくく、熱中症のリスクがあるほか、衛生面でトイレ環境が整わず、感染症のリスクもあります。また、停電などにより防災拠点としての機能を十分に果たせない恐れもあり、対策が求められています。

こうしたことを防ぐために、避難所にソーラーパネルや蓄電池を設置することは、脱炭素化と防災を両立できる「一石二鳥」の戦略です。加えて断熱対策を徹底すれば、普段学校や公民館として使用する時も、子どもたちやお年寄りが快適に過ごせます。また、トイレカーを整備しておけば、イベント開催などに利用しながら、有事の際は、安心安全できれいなトイレを確保できるなど、さまざまなメリットがあります。

能登半島の大地震の後に襲った線状降水帯による豪雨災害は、複合災害の恐ろしさをまざまざと私たちに突きつけました。他人事と思わず、防災と脱炭素を両立させる良いアイデアと一緒に模索していきましょう。

令和5年7月大雨時の様子
（あわら市内）



私たちの消費が未来につながる「エシカル消費」

消費者センターだより

「エシカル (ethical)」とは「倫理的な」という意味で、**人や社会、地域、環境に配慮したものやサービスを選んで消費**することを「エシカル消費」といいます。

私たちは豊かな消費生活を送っていますが、その一方で、世界では貧困や児童労働、地球温暖化など深刻な社会問題が起こっています。

買い物をする時には、価格だけでなく「どこで作られたのかな?」「環境に優しいのかな?」といった商品の背景を考えて購入したり、日常生活でエシカルな視点を持った行動を心がけるなど、消費者一人ひとりの選択が、より良い未来につながっていきます。

すでに取り組んでいる人も、これからやってみようという人も、できることからエシカル消費を始めてみませんか。

〈エシカル消費の一例をご紹介します〉

買い物をする時に・・・

- ・地元で生産された商品を購入する
- ・地元のお店で買い物をする
- ・被災地の産品を購入する
- ・福祉施設で作られた製品を購入する
- ・必要なものを必要な分だけ購入する
- ・認証ラベルやマークのある商品を選ぶ
- ・フェアトレード商品（※）を選ぶ
- ・マイバッグを持参する



日常生活の中で・・・

- ・食べ残しを減らす
- ・買ったものは食べきる・使いきる
- ・マイボトルを持ち歩く
- ・省エネを実践する
- ・ものを長く大切に使う
- ・ゴミの分別を徹底する
- ・自転車や公共交通機関を利用する

（※）フェアトレードとは：開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を支援する「貿易のしくみ」です。



困ったときは一人で抱え込まず、消費者センターへご相談ください

問合せ 消費者センター ☎ 73-8017 ✉ seikatsu@city.awara.lg.jp

消費者ホットライン ☎ 188（局番なし）「泣き寝入りは、いやや（188）！」

消費者庁 消費者ホットライン 188
イメージキャラクター「イヤヤン」

風水害から命を守るために 最新の情報を入手しましょう



6月から10月までの梅雨時期から台風シーズンにかけてを「出水期」といい、大雨などによる土砂崩れや河川の氾濫が発生しやすい時期とされています。特に近年は、線状降水帯の発生が増加しており、短時間で非常に強い雨が降ることがあります。

風水害発生時には、刻々と変化する状況に合わせて、最新の情報を入手することが重要です。ご自身の環境に合わせて、どの手段でどのような情報が得られるのかを確認し、スマートフォンなどに事前に登録しておきましょう。また、確実に情報を得られるよう、複数の入手手段を登録しておくことをおすすめします。

夜間の急激な降雨や浸水があるときなど、外に出ることが危険だと判断した場合は、自宅の2階以上への避難（垂直避難）も有効な手段です。

情報収集のススメ

「あわら市防災メール」をご活用ください！

配信情報

- ・避難情報や避難所開設に関する情報
- ・警報・特別警報・緊急地震速報に関する情報
- ・Jアラートから配信される弾道ミサイルやテロに関する情報
- ・その他の防災などに関する緊急情報



二次元コードからも
メールを送信できます

登録方法

空メールの送信により、登録手続きに進みます。

〈以下のメールアドレス宛に空メール（件名・本文不要）をお送りください。〉

bousai.awara-city@raidan3.ktaiwork.jp



スマートフォンや携帯電話での情報取得方法

・Yahoo! 防災速報アプリ

・あわら市公式 LINE



Android 用



iOS 用



スマートフォンや携帯電話以外の情報取得方法

- ・あわら市ホームページ
- ・テレビ ・ラジオ



携帯電話やスマートフォンをお持ちでない人へ

防災無線の内容を固定電話に配信します（避難情報等電話発信サービス）。

対象

携帯電話やスマートフォンをお持ちでない高齢者（65歳以上）など、避難時に支援が必要な世帯

配信情報

防災無線から放送された内容を配信します。

登録方法

市ホームページ（右の二次元コード）から登録申請書を印刷し、

必要事項を記入の上、危機管理課（☎ 73-8040）へ提出してください。



ホームページ